

# 留学報告書

記入日:2014年12月27日



所属学部／研究科・学科／専攻	商学研究科商学専攻
留学先国	オーストラリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ニューサウウェールズズ大学 現地言語: University of New South Wales
留学期間	2014年2月～2014年12月
留学した時の学年	博士後期課程 4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2014年12月 日
明治大学卒業予定年	2016年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:2月上旬～6月下旬 2学期:7月下旬～11月下旬
学生数	40,000人
創立年	1949年

留学費用項目	現地通貨(AU\$)	円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	10,000	円	食事を含む
食費	500	円	外食
図書費	100	円	
学用品費	100	円	
教養娯楽費	1,000	円	
被服費	500	円	
医療費	0	円	
保険費	1,500	円	形態:
渡航旅費	1,650	円	
雑費	1,000	円	ビザの取得など
<b>合計</b>	<b>16,350</b>	<b>円</b>	

## 渡航関連

**渡航経路:** 東京ーケアンズーシドニー

渡航費用

チケットの種類	
往路	650ドル
復路	1000ドル
合計	1650ドル

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

ジェットスター

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 )

3)住居を探した方法:

学校から送ってきた寮の紹介→各自申請

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

シドニー現地の物価が高く、家賃は特に高い。滞在した International house は非営利団体が経営しているようで、食事つきにもかかわらず、家賃が安い。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学センターの事務所があり、学校関連のことなら相談に乗ってくれる。ただ、学校の始まる頃は非常に混雑する。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険なことはほとんどなかった。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯は sim カードロックものを持参し、sim カードだけを現地調達。インターネットは学校の図書館と無料の wifi を利用。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

寮費は振り込みで済ませたので、少し現金を持参し、残りはカードを作ってから両親に振り込んでもらった。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

買い物は便利なので特になかったが、人によって薬や生理用ナプキン、化粧品を持つてくるケースがある。

## 進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません (理由: 博士後期課程のため)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Behavioural Economics	行動経済学
科目設置学部・研究科	School of Economics
履修期間	第一学期
単位数	6
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・チュートリアル
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Andreas Ortmann
授業内容	行動経済学に関する授業で、学部生と大学院生、両方の履修が可能。講義ごとに一つの命題について検討する。
試験・課題など	文献レビュー 期末試験
感想を自由記入	毎週テーマが異なるので、一つのテーマについて6, 7本の論文を事前に読むように要求される。英語の読解力がかなり問われる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International and Global Marketing	国際とグローバルマーケティング
科目設置学部・研究科	School of Commerce
履修期間	第1学期
単位数	6
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・チュートリアル
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Gary Gregory
授業内容	学部生向けの国際マーケティング。概念紹介、事例紹介が中心。
試験・課題など	クイズ2回 レポート毎週 個人のプロジェクト グループプロジェクト
感想を自由記入	内容自体は難しくないが、試験のために暗誦する内容がとにかく多い。それに加え、毎週のレポートやグループプロジェクトのための打ち合わせなど、かなりの時間の分配が必要。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Distribution Strategy, Retail Channels, and Logistics	流通戦略、小売りチャンネルとロジスティクス
科目設置学部・研究科	School of Commerce
履修期間	第1学期
単位数	6
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Jack Cadeaux
授業内容	小売りチャンネルの展開をテーマにする授業、流通の原理から事例まで幅広く紹介される。
試験・課題など	エッセー型のクイズ2回 チャンネル提案のプロジェクト 出席と議論の参加
感想を自由記入	授業の内容はかなり洗練されていて分かりやすく、理論と事例の分配がちょうど良い。ただチュートリアルがないため、授業の後半はほとんど先生との議論が中心になり、回答した人がクレジットをもらえる仕組みなので、積極的に議論に参加するのがお勧め。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Customer Relationship Management	顧客リレーションシップマーケティング
科目設置学部・研究科	School of Marketing
履修期間	第1学期
単位数	3
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Adrian Payne
授業内容	マーケティング研究科の院生向けの授業。顧客リレーションシップのフレームワークに事例を加えながら展開される。
試験・課題など	グループプロジェクト
感想を自由記入	成績の評価は主にグループプロジェクトなので、グループワークとコミュニケーションの能力が問われる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Advanced Marketing Strategy	アドバンスマーケティング戦略
科目設置学部・研究科	School of Marketing
履修期間	第1学期
単位数	3
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Adrian Payne
授業内容	マーケティング戦略について紹介する授業。
試験・課題など	グループプロジェクト
感想を自由記入	成績の評価は主にグループプロジェクトなので、グループワークとコミュニケーションの能力が問われる。

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2013年 1月～3月	
4月～7月	英語の準備
8月～9月	TOEFL 受験 留学先の決定 学校内の先行
10月～12月	内定を取得 ビザ、保険、など渡行の準備
2014年 1月～3月	出発 学校のオリエンテーション 授業開始
4月～7月	授業 中間試験 授業 期末試験 冬休み
8月～9月	授業開始 授業 中間試験
10月～12月	授業 期末試験 夏休み

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米の研究方法論について勉強したい。質的調査や量的調査など、実証研究の方法論に関する授業を履修することで、マーケティングの方法論についての研究を深めていきたい。</li> <li>・英語の能力を向上させたい。将来の研究やキャリアに役に立てるために、英語の授業を履修することや、ディスカッションに参加することで、学術英語に関する能力をレベルアップさせたい。</li> <li>・自分の研究テーマである消費者行動における文脈価値の影響について、現地のサンプルを使って調査を行い、それを将来博士論文の一部として入れたい。</li> <li>・オーストラリアでの最先端の研究潮流を把握し、現地の研究者たちと良い関係を構築することで、日本、オーストラリアあるいは中国に関する研究の情報を共有し、将来共同研究をするきっかけを作りたい。</li> </ul>
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	英語での会話力を向上させておく必要がある。グループプロジェクトを進めるために、頻りにグループメンバーとの打ち合わせを行うだけでなく、チュートリアルなど議論に参加しなければならない場面もかなりあるため、会話力はかなり重要となる。また、自分の文化を代表できる様、服装や料理等についての情報を事前に準備しておくことをお勧めする。留学先では各国から来た留学生と交流する場面が多く、その際に自分の国の良さを紹介できれば、友達を作るチャンスになる。
この留学先を選んだ理由	一番の理由は大学ランキングである。特にビジネススクールのランキングの授業の多様性を見て大学を決めた。
大学・学生の雰囲気	友好的で自由な雰囲気
寮の雰囲気	100人以上が住んでいる寮だが、内部のイベントがほとんど毎週行われている。色々な国の人と友達になれる。
交友関係	積極的に話しかければ、友達はたくさん作れる。
困ったこと、大変だったこと	特になかった。
学習内容・勉強について	チュートリアルのシステムは日本にはないので、最初はかなり大変だった。一番難しいのは、議論に参加することである。母国語ではないため、反応のスピードや話の質と長さは最初はどうしても現地の学生には及ばなかった。焦らずに少しずつ準備と練習の努力を日々積み重ねていけば、最初の状況はだんだん改善される。
課題・試験について	日本と比べ、宿題と試験を準備する時間がかかなり多く要求される。時間だけではなく、効率よく勉強するのもかなり大切である。
大学外の活動について	大学では多くのサークルやクラブがあるため、趣味によって必ず好きな活動に参加できる。自分はダンスとピアノが好きなので、学校内だけでなく、外部のスクールにも通っていた。
留学を志す人へ	無理に頑張らないこと、留学の期間を通じて、自分の好きなこと、楽しいと思うことをたくさんすることがお勧め。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	勉強	勉強	勉強	勉強	授業	外出	外出
	授業	授業	勉強	勉強	授業	外出	外出
午後	勉強	勉強	グループワーク	グループワーク	勉強	外出	外出
	グループワーク	授業	勉強	勉強	勉強	ピアノ	ダンスクラス
夕刻	授業	勉強	授業	ダンスクラス	外食	外食	外食
夜	授業	ピアノ	授業	ピアノ	休憩	休憩	休憩